

各 位

会 社 名 株式会社きちり
 (コード番号：3082 東証第一部)
 本 社 所 在 地 大阪市中央区安土町二丁目3番13号
 代 表 者 名 代表取締役社長 平川 昌紀
 問 合 せ 先 常務取締役
 経営管理本部長 葛原 昭
 電 話 番 号 06-6262-3456(代表)

特別損失の計上、平成 31 年6月期第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年8月6日に公表した平成 31 年6月期(平成 30 年7月1日～平成 31 年6月 30 日)の第2四半期業績予想及び通期連結業績予想について、関係会社であるイタリー・アジア・パシフィック株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:西条 真義、以下「EAP 社」)株式の売却を決議し、それによる特別損失の計上見込を踏まえ、下記のとおり修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

平成 27 年6月以降、当社と三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:安永 竜夫、以下「三井物産」)、イタリアトリノに本社を置く EATALY Distribuzione S.R.L. (本社:イタリア共和国トリノ市、社長:Andrea Guerra、以下「EATALY 社」)の3社で立ち上げた EAP 社にて、日本国内の EATALY 事業の展開を進めてまいりました。平成 29 年 8 月 30 日には、東京駅最大のエキナカ商業施設「グランスタ」の新しいエリア「グランスタ丸の内」に『EATALY グランスタ丸の内店』を出店するなど、新たな食のスタイルを提案してまいりましたが、この度、EAP 社創業フェーズにおける当社役割を終えたため、当社が保有する EAP 社の発行済株式総数の 34.0%の株式を親会社である三井物産に売却することを決議いたしました。当該事象により、関係会社株式評価損 121 百万円を特別損失に計上する見込みです。なお、当社は EAP の一部業務を当面の間受託する予定です。

2. 通期業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 31 年6月期第2四半期累計期間業績予想の修正(平成 30 年7月1日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 4,900	百万円 220	百万円 220	百万円 132	円 銭 12.91
今回修正(B)	4,900	220	220	59	5.77
増減額(B-A)	—	—	—	△73	
増減率(%)	—	—	—	△55.3	
(ご参考)前期実績	4,649	215	214	131	12.91

(2) 修正の内容

平成 31 年6月期通期連結業績予想の修正(平成 30 年7月1日～平成 31 年6月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 9,800	百万円 400	百万円 400	百万円 240	円 銭 23.47
今回修正(B)	9,800	400	400	167	16.33
増減額(B-A)	—	—	—	△73	
増減率(%)	—	—	—	△30.4	

※平成 30 年6月期は、連結決算を行っておりませんので、(ご参考)前期実績は記載しておりません。

(3) 修正の理由

利益面につきまして、イータリー・アジア・パシフィック株式会社の株式売却により、第1四半期において関係会社株式評価損 121 百万円を特別損失に計上する見込みであるため、計画を修正するものです。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、平成 30 年8月6日に公表した内容から変更はありません。(期末配当:1株当たり 7.5 円)

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上